

サルビアの育て方

○サルビアの特徴

夏から秋にかけて花が咲きます。草丈は 20 cm～40 cm くらいに成長し、花色は赤色や青色のほか白色など様々な色があります。

○花壇への植え付けについて

苗を 20 cm～25 cm 間隔で花壇に植え付けます。

○用土について

水はけの良い有機質に富んだ用土で、鹿沼土（赤玉土でも可）6：腐葉土 4 の割合で混ぜた用土を使用します。市販の草花用培養土でもよく育ちます。

○水やりについて

極端に乾かすと花や咲く前のつぼみがポロポロ落ちたり、下の方の葉っぱが落ちてしまうこともあります。極端な乾燥に気を付け、土の表面が乾いていたらたっぷりと水を与えます。乾燥に弱いといってもあまりやりすぎると土がじめじめと湿っているような多湿状態になり根が腐ってしまいますので気を付けましょう。

○肥料について

サルビアは肥料切れすると、株が張らず、花つきも悪くなります。緩効性化成肥料や乾燥牛糞などを元肥として十分すき込む他、真夏以外の育成期間中、10 日に 1 回程度、液体肥料を施します。

○摘心【植物などで、生育中の茎または枝の先端の生長点を摘み取ること】について
葉っぱが 6～8 枚になったら、つぼみの一段下の葉をつけて切ります。

○管理の仕方について

一度に大量の肥料を与えず、適度に水と肥料を与えます。
水やりは土が乾いたらたっぷりと与えます。

○花がらつみについて

花の赤色が色あせたものを花茎の元から摘み取ります。
花を摘み取ってから 25 日前後 で新しい花が咲きます。